

B-1 指導・評価計画

時	小単元名及び目標	主な学習活動	評価規準	言語	関心	思考	技能	知識
1	地方自治と民主政治 ・身近な地方自治に関心をもつ。 ・民主主義の基本原則を理解させる。	○地方自治の意義としくみについて理解する。	・地域の政治が私たちのくらしとどのように関わっているか考えようとしている。 ・民主主義の考え方や基本原則を理解することができる。		○			○
2	地方公共団体のしくみと仕事 ・地方公共団体の仕事に関心をもたせる。 ・地方公共団体のしくみや仕事を理解させる。	○地方公共団体の政治について理解する。	・地方公共団体の仕事内容について意欲的に追究しようとしている。 ・地方公共団体のしくみや仕事内容を理解することができる。		○			○
3	地方財政の現状と課題 ・歳入・歳出をグラフに表すことを身につけさせる。 ・依存財源・自主財源の違いを理解させる。	○地方財政の内容と課題について理解する。	・表を読み取り、まちの歳入・歳出の割合をグラフに表すことができる。 ・まちの歳入の項目別割合から、依存財源・自主財源を理解することができる。					○
4	地方財政の現状と課題 (加賀市の財政から) ・加賀市の財政をより良くするための方策を考えさせる。 ・資料がから、加賀市の財政の特徴を読み取らせらる。	○加賀市の財政をより良くするための方策を考える。	・加賀市の財政の特徴を踏まえ、加賀市の財政をより良くするための方策を考えることができる。 ・加賀市の歳入・歳出の表から、加賀市の財政の特徴を読み取ることができる。	●	○			○
5	地方自治の変化 ・身近な市町村の合併に関心を持たせる。 ・情報公開の現状と問題点について、自分の考えを持たせる。	○地方公共団体の今後のあり方について考える。	・自分のまち及び周りの市町村の合併とその後の変化に関心を持ち、それを追究しようとしている。 ・まちの情報公開の現状と問題点を追究し、公開のあり方について自分の考えをもつことができる。		○			○
6	地方自治と私たち ・オンブズマン制度の意義や役割について考えさせる。 ・住民参加の意義を踏まえ、直接請求権の内容を理解させる。	○地方自治と私たちとの関わりについて理解する。	・オンブズマン制度について調べ、その活動の意義や社会に果たす役割について考察できる。 ・地域住民が政治参加する意義を踏まえ、直接請求権の種類と内容を理解することができる。		○			○